

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年9月3日

計画の名称	53 射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり									
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	射水市							
計画の目標	物流拠点（企業団地等）へのアクセス道路を整備し、活力ある地域づくりを行う。 歩行者・自転車が安心して通行できる道路整備を行う。 冬期間の積雪時において、安全に通行できる道路網を確保する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の企業団地等の分譲済面積を、平成29年度まで約10%増加させる 歩行者・自転車に係る交通事故発生件数を、75件（H25）から65件（H29）へ減少させる。 冬期（12月～3月）の交通事故発生件数を、143件（H25）から125件（H29）へ減少させる。 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値						
				当初現況値 （H25当初）	中間目標値 （H27末）	最終目標値 （H29末）	備考			
企業団地等の分譲済面積から増加率を算出する。 （企業団地等分譲済面積の増加比率）＝（評価時点の企業団地等分譲済面積 - H25企業団地等分譲済面積） / （H25企業団地等分譲済面積）				0.0%	5.0%	10.0%				
市内における歩行者・自転車に係る交通事故件数を集計する。				75件 / 年	70件 / 年	65件 / 年				
市内における毎年の冬期（12月～3月）の交通事故件数を集計する。				143件	135件	125件				
全体事業費	合計 （A + B + C）	875 百万円	A	875 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	0.0%

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	射水市都市整備部道路課
事後評価の実施時期	令和2年9月
公表の方法	射水市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
53-A1-1	道路	一般	射水市	直接		市町村道	改築	（他）堀内土合線 堀内	拡幅整備 0.88km	射水市						78		
53-A1-2	道路	一般	射水市	直接		市町村道	交安	（他）塚原47号線 松木	歩道整備 0.69km	射水市						152		
53-A1-3	道路	一般	射水市	直接		市町村道	改築	（他）三ヶ34号線 三ヶ・稲積	歩道整備 1.47km	射水市						186		
53-A1-4	道路	雪寒	射水市	直接		市町村道	除雪	（1）太閤山環状線他	除雪 194.3km	射水市						75		
53-A1-5	道路	一般	射水市	直接		市町村道	交安	（1）大門針原線 二口	歩道整備 1.70km	射水市						82		
53-A1-6	道路	一般	射水市	直接		市町村道	改築	（他）池多615号線 池多	拡幅整備 0.42km	射水市						99		
53-A1-7	道路	一般	射水市	直接		市町村道	改築	（他）今井北高木線 今井・新開発	拡幅整備 0.40km	射水市						12		
合計																684		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29				
合計																0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29				
合計																0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

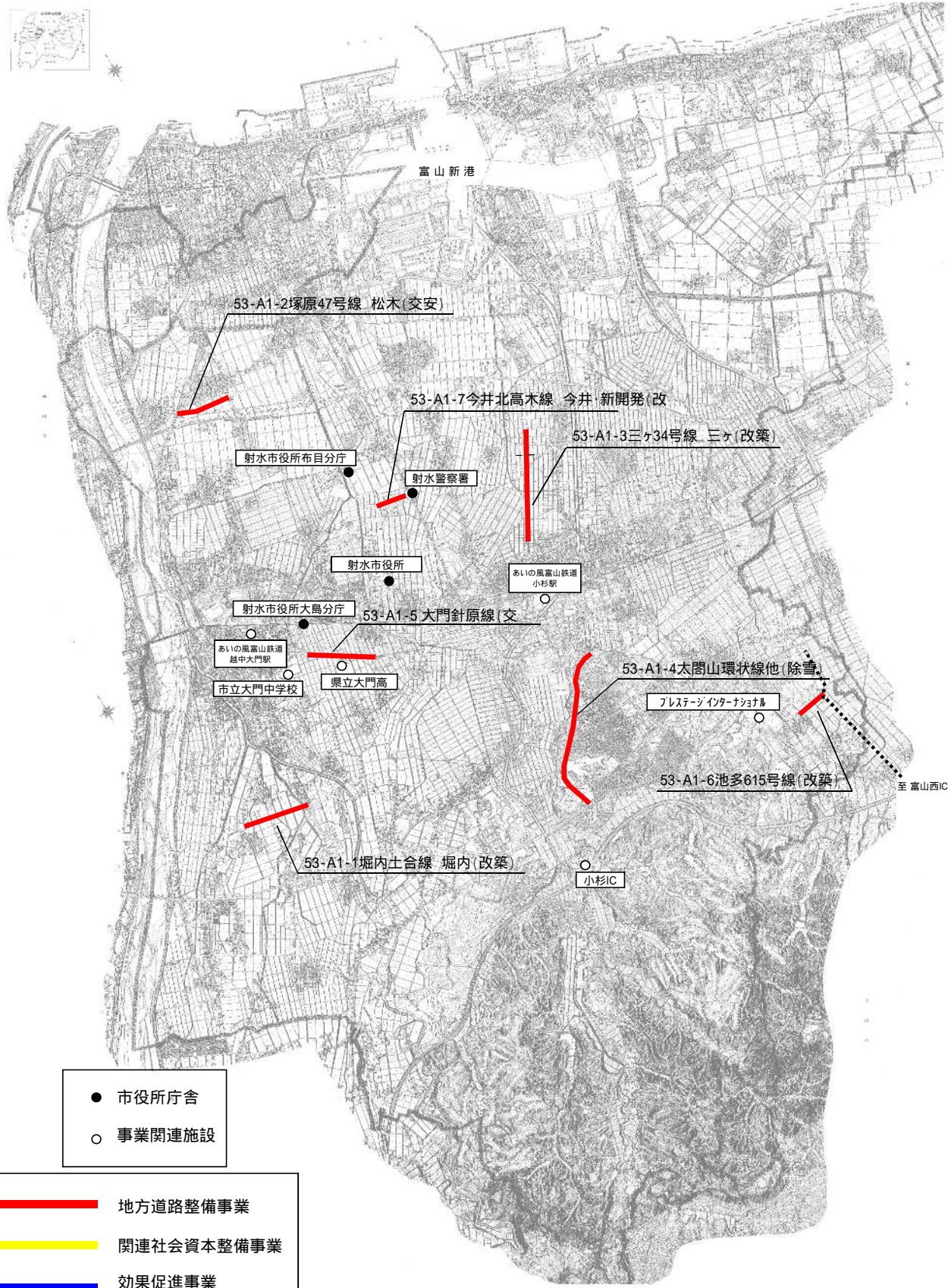
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		事業の進捗に伴い企業団地の分譲済面積は増加した。 道路整備が進んだこともあり、交通事故の発生件数は減少した。			
定量的指標の達成状況	指標（企業団地等の増加率）	最終目標値	10%	目標値と実績値 に差が出た要因	企業団地の分譲済面積は17.9ha増加したが目標値には達しなかった。 増加率を上げるためにも引続き事業を継続したい。
		最終実績値	3%		
	指標（歩行者・自転車の交通事故件数）	最終目標値	65件/年	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	39件/年		
	指標（冬期の交通事故件数）	最終目標値	125件	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	102件		
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

3. 特記事項（今後の方針等）	

参考図面

計画の名称	53 射水市における物流拠点へのアクセスの強化と安全・安心な暮らしを支える道づくり	
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象 射水市



- 市役所庁舎
- 事業関連施設

- 地方道路整備事業
- 関連社会資本整備事業
- 効果促進事業